

論文内容の要約

論文名	Poor Glycemic Control is a Major Factor in the Overestimation of Glomerular Filtration Rate in Diabetic Patients 糖尿病患者における糸球体濾過率の過大評価の主要因は血糖コントロール不良である
氏名	津田 昌宏
<p>【目的】 糖尿病性腎症患者では、推算糸球体濾過率（eGFR）による推算は腎機能を過大評価する。このeGFRによる腎機能過大評価の要因をイヌリンクリアランス（C_{in}）との比較で検討した。</p> <p>【対象】 糖尿病患者40例（年齢64.8 ± 9.5歳、男性16名、女性24名）及び非糖尿病40例（年齢48.3 ± 15.8歳、男性19名、女性21名）。</p> <p>【方法】 真の腎機能をC_{in}で評価した。C_{in}とeGFRの相関関係、一致率を求めた。C_{in}とeGFRの比率（$eGFR/C_{in}$）により乖離度を求め、各要因との相関関係を検討した。$eGFR/C_{in}$及びHbA1cの一次関数より、eGFRのHbA1cによる補正式を作成した。</p> <p>【結果】 C_{in}での腎機能評価では糖尿病患者と非糖尿病患者で有意差がなかったが（$p=0.2866$）、eGFRは糖尿病患者で有意に高値であった（$p<0.0001$）。C_{in}とeGFRは糖尿病患者（$r=0.686$, $p<0.0001$）及び非糖尿病患者（$r=0.930$, $p<0.0001$）それぞれで有意な相関を認めたが、糖尿病患者で分布がばらつく傾向にあり、一致率も低かった（糖尿病患者：0.669, 非糖尿病患者：0.847）。全症例において、$eGFR/C_{in}$はHbA1cと有意な相関を示し（$p<0.0001$）、年齢、性別、BMI、平均血圧を独立変数として加えた重回帰分析モデルにおいても、HbA1cが有意な独立した関連を認めた。$eGFR/C_{in}$とHbA1cの相関関係から、HbA1cによる補正$eGFR[C_{in}(mL/min)=eGFR(mL/min)/(0.428+0.085 \times HbA1c(\%))]$を作成した。HbA1cによる補正式により、$C_{in}$との一致率は改善した（糖尿病：0.768, 非糖尿病：0.938）。</p> <p>【結論】 糖尿病性腎症患者では、血糖コントロール悪化でeGFRは腎機能を過大評価する。eGFRの糖尿病患者での有用性付与のため、HbA1cによる補正eGFRの式を提唱する。</p>	